

2050年を見据えた artienceグループの価値創造

artienceグループは、これまで2027年を目標年度とする長期構想Scientific Innovation Chain 2027 (SIC27)に取り組み、3カ年単位の中期経営計画を遂行してきました。2024年度からartienceとして新たにスタートを切るにあたり、変革を着実に実行すべく2030年をゴールとした経営計画artience2027/2030“GROWTH”を新たに策定しました。

それぞれの中期経営計画においては、財務目標を設定した事業活動を推進することに加えて、当社グループと社会のサステナビリティに関する重要課題(マテリアリティ)を策定し、中期経営計画と連動したサステナビリティ活動を進めて

います。さらに、近年の気候変動対応やカーボンニュートラル、SDGsへの取り組みに関するグローバルの動向、および企業に向けられた要請が活発化している社会状況に対応すべく、当社グループのサステナビリティ活動の実践的な長期目標として、サステナビリティビジョンasv2050/2030を策定し、取り組みを進めています。

社会環境が目まぐるしく変化する中で、新たな時代に貢献しさらなる成長を遂げるため、世界の人びとに先端の技術で先駆の価値を届ける会社へと変革し、グループ一丸となって、感性に響く価値を創り出すことで、心豊かな未来の実現を目指します。

業績目標

	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (計画)	2026年度 (目標)	2029年度 (目標)
連結売上高	287,989百万円	315,927百万円	322,122百万円	340,000百万円	400,000百万円	500,000百万円
連結営業利益	13,005百万円	6,865百万円	13,372百万円	14,500百万円	25,000百万円	-
営業利益率	4.5%	2.2%	4.2%	4.3%	6.3%	-
ROE	4.4%	4.3%	4.2%	-	7.0%以上	10.0%以上

前中期経営計画SIC-IIの総括(2021~2023年度)

成長に向けた取り組みには一定の進捗があり、売上高は目標を達成したものの、原材料価格の高騰による営業利益率の低下や数量の減少などにより営業利益は目標に対し大きく未達となりました。

SIC-IIの成果と課題

基本方針	成果	課題
1. 事業の収益力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 成長地域(インド、東南アジア、トルコ)での事業拡大と投資の推進(海外売上高比率: 46.4%→53.7%) 事業体制の合理化 印刷・情報: 国内販売会社統合や他社とのアライアンスを推進 色材・機能材: 拠点整理や集約化(フランス、フィリピン、天津、茂原) 	<ul style="list-style-type: none"> 収益力改善のための市場や製品ポートフォリオの変革
2. 重点開発領域の創出と拡大	<ul style="list-style-type: none"> LIB用CNT分散体のグローバルSCM構築と実績化 サステナビリティ貢献製品(旧環境調和型製品)の拡大 高付加価値製品の拡大(機能性コーティング材など) 	<ul style="list-style-type: none"> 重点投資によるLIB用CNT分散体事業の拡大、およびその他新事業による収益の柱の創出と成長の実現
3. 持続的成長に向けた経営資源の価値向上	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティビジョンasv2050/2030(旧TSV2050/2030)の策定とESG専任部署の新設 間接部門のコスト構造を変革するための機構改革 ガバナンス強化と業務執行の迅速化(監査等委員会設置会社へ移行、女性取締役増員、執行役員数の半減(26→13名: 2023年12月31日時点)) 保有株式の縮減(131億円) 自己株式の取得(107億円) 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍など外部環境の影響による運転資金の増加と積極投資で悪化したキャッシュフローの改善

